

豊明市文化財保護委員会会議録

日時：平成29年12月15日（金）午前9時30分～11時00分

場所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、村野委員、相場委員、佐野委員、鈴木委員
岡村委員、永井委員

事務局：伏屋教育長、高木生涯学習課長、青木課長補佐、岸田主査、神谷社会
教育指導員

1 委員長あいさつ

2 報告事項

(1) 戦人塚整備基本計画について

- ・来年度に国庫補助を受けるには整備基本計画を策定し、文化庁へ提出することが必須条件である。これまでの審議会の中で協議、修正したものを文章化したもので11月に県へ提出した。事業計画については平成30年度の4月から7月にかけて境界測量を行った後、整備工事を10月頃に開始し、年度末までに完了する。なお、境界測量については国庫補助の対象とならない。

来年度になったら工事の経過報告や見学をしていただく予定である。

3 その他

(1) 事業報告等について

○事業報告について

- ・事務局より資料に基づき説明。

○歴史的建造物の保存・活用について

- ・市内歴史的建造物の保存に向けて市内歴史的建造物の登録要綱を事務局で作成し、今回の会議で提出する旨を事務局より説明した。
- ・条例化した形で建物の一般公開をするなど他市町村の様子を聞いて公開できるようにするとよい。

○三浦委員からの提案及び他の委員からの意見について

- ・二村山に鎌倉街道が通り、自然が残っているので散策できるように登録文化財に相当する古民家を旧野田邸跡地に移築するとよい。また、昭和初期の農家を再現し、博物館として保存・活用を図っていくとよい。これらのことから、二村山の旧野田邸跡地のところを歴史文化遺産の場所として集約できるとよい。（三浦委員）
- ・たばこ乾燥小屋については取り壊しの際に寄贈を受けるとよい。（三浦委員）
- ・古民家は活用していかないと保存は難しい。ギャラリー、喫茶店を併設し、イベントや寄り合いの場として活用していくとよい。
例えば、雛人形、五月人形等を集めて季節ごとにイベントを開催したり、お茶、お花、切り絵等のサークル活動がある。なお、施設管理については市が行い、サークル活動の管理については代表者が行っていくとよい。
- ・沓掛城址から鎌倉街道を再現していくことが必要である。そのためには十三塚を再現したり、古材を利用して建物を再現するとよい。

- ・阿野公会堂など市内に残る歴史的建造物を委員で見に行く機会を設けた
い。
- 資料室の活用等について
 - ・学校施設で企画展示を行う際は、展示の他に調理室を活用してアクティ
ブなことに利用していく必要がある。
 - ・資料室を管理し、沓掛城址、鎌倉街道をコーディネートする専門家が必
要である。
- 寄贈物管理について
 - ・今年、鉄砲の寄贈があった件について価値・由来をはっきりさせる必要
がある。また、漆製品は紫外線に弱いため代用品（レプリカ）で展示し
て実物は保管するとよい。

次回文化財保護委員会 平成30年3月16日（金）9時30分から
市役所東館 教育委員会室